

# えと占い

竹村 亜希子



たけむら・あきこ 易経研究家。東洋文化振興会相談役。中国古典「易経」を叡智の書とし全国の企業、官庁で講演やセミナー。著書に「リーダーの易経」「超訳・易経」(角川SSC新書)など。「江守徹の朗読で楽しむ易経入門」(日経eブック)解説。



## 辰



想定以上の多忙となる。ただし運気は忙しさに比例せず、動き損も。体力の過信は最悪。健康面で不調を感じたら即診察を。病気も運気も早めの対処が一番効果的。状況を甘く考えると秋風が吹く時期に「孤城落日」、落魄の年末に。

## 午



夏、今後必要不可欠となる相手と出会う暗示。弱気な対応は禁物。運氣喪失、チャンスを逃すと「水に降る雪」となりかねない。「機を逃した」の後悔は戻らぬ覆水。友人との争いは極力回避。詐取の標的とならぬよう。

## 酉



運氣の上下激しき一年。最たる幸運は恋愛面。七月に運命的出会いあり。最低なのは家族間の金銭上の争い。遺産が絡んだならば泥沼化するはず。このとき弁を以って知を飾ることは回避する。周囲の雑音に惑わされない。

## 未



忘れてならない言葉は「変化」。いまここにいる己の位置に踏みとどまるのは禁物。安直に状況と癒着すれば運氣低迷を招来。仕事も人間関係も須らく一新すべきとき。自ら望んで大きく変わる。疚しき恋文は丙丁に付す。

## 戌



精神的な安定を堅持せよ。過剰な情報に踊らされての対応は最悪。まさに土崩瓦解、長期化すると体調不良に。最善の策は家族旅行。えもいわれぬ不安の台頭あれば即座な回復を図ること。必要なのは危機への臨機応変さ。

## 申



求めるは純粹な生き方。平常心を堅持し一念発起して吉。事業学問蓄財ともに特大の吉。ただし年少者相手の金銭貸借は禁物。訴訟騒ぎに発展も。夏までは海外旅行注意。旅先で思わぬ病気や事故に巻き込まれる暗示あり。

## 亥



満点を望まないで「そこそこ」で可とすべし。はかなさを知れば、安穩に暮らす平穩無事の大切さを再認識できる。要注意は家庭内の骨肉の争いのみ。生真面目な対応は問題に振り回されて疲労困憊。譲歩するのは◎。

## 子



人間関係が重篤な一年。友人仲間パートナー間でトラブル発生の暗示。早期解決を図ることで運氣は逆転急上昇も。桑麻の交となれば、毬栗も中から割れるごとく幸運招福し、晦日に振り返れば、恵まれた一年だったと実感。

## 寅



今年の基本は「その雄を知り、その雌を守る」。自己過信からの奮勇は禁物。公であれ私であれ、自己主張は控え、周囲の意見に耳を貸す。近しい人たちと些細な行き違いから争いになる可能性も。独断の回避が最善。

## 卯



可もなく不可もなく「まあまあ」の一年に不満を持たぬよう。甘言を持って接近してくる輩あり、要注意。信言は美ならず美言は信ならず。邪な欲望に流されると大切な人たちと誤解を生じそう。今年の引越越し転職は再考を。

## 丑



黙り虫壁を通す。黙ってコツコツ、が肝要。運氣は比較的好調な時期。スポーツなど何か新しいことに挑戦すると、長い付き合いとなる友人の誕生も。一見好調に思える金運は八月を境に急降下。必要なものは夏までに購入を。

- ・桑麻の交 隠し事のない付き合い
- ・その雄を知り、その雌を守る 剛直かつ柔和
- ・虎須を編む 危険を承知で行う。須はひげ
- ・丙丁に付す 火にくべる

